

中国留日学生監督処文献

25

資料形態	35mm マイクロフィルム 12 リール
請求記号	M 4 2
原本所蔵	不明
製作	早稲田大学図書館
内容	<p>明治 29 年(1896 年)に清国(当時)より初めて留学生が来日してから今日まで、多くの中国人留学生が来日している。第二次世界大戦前は昭和 12 年(1937 年)まで 42 間続き、多いときにはおよそ二万名の留学生が学んでいたというから、この間学だ留学生の総数はいかにほどになるのか想像がつかない。</p> <p>このため清国政府は学校との交渉、留学生の監督などの必要から明治 36 年(1903 年)に公使館外に留学生監督処(中華民国時代は中華民国留日学生監督処)を設置し、同年より『官報』(留学生に関する専門雑誌)、『経費報銷冊』(学費支給明細という定期刊行物を出版した。中華民国時代には、こうした刊行物は出版されなかったが、留学生についての多くの資料を残した。</p> <p>大正 12 年(1923 年)、関東大震災により中華民国留日学生監督処は閉鎖され、処は帰国し、これらの資料は留学生斡旋機関の日華学会に寄託された。しかしその日中戦争、第二次世界大戦、敗戦等で日華学会も解散しこれら資料も散逸しかたが、故實藤恵秀本学教授が尽力して中国研究所に保管を依頼し散逸を防いだ。その後同教授がこれらの資料の移管を依頼され研究室に運び、1966 年早稲田大学図書館がマイクロ化した。同教授は原資料を中国に返還することを希望していたが、在の所在は不明である。</p> <p>マイクロ資料の内容は、前記『官報』、『経費報銷冊』、中華民国時代の留学統計、同名簿、官費留学生調査簿などであるが、惜しむらくは『経費報銷冊』の初の部分が欠失していることである。この部分は今後とも発見されることはないであろう。とはいえ、この資料が中国人学生の日本留学の歴史を研究する第一級の資料であることは論を待たない。故實藤先生のご努力に感謝したい。</p>
検 索	早稲田大学図書館 編『中国留日学生監督処文献』(目録)による。
関連文献	<p>實藤恵秀『中国人日本留学史稿』日華学会 昭 14</p> <p>さねとうけいしゅう『増補 中国人日本留学史』くろしお出版 1981</p> <p>『財団法人 日華学会年報 第 1 回～第 19 回』1919-35 他</p>

7 → 区別は

1 光緒 33 年 7 月 20 日 至 34 年 6 月

書 名 中国留日学生監督及文獻

編 著 者 中国公使館 遊学生監督署

著編年次 明治36年
刊寫年次 昭和41年10月6日

卷數 冊數

52冊

總頁數

形態 和洋二種

所 藏 者 日華学会

番 一 號
A
171

昭和41年10月6日作成

目錄冊子本番號
1-2
2438

(參 照)

早稻田大學圖書館

中国留日学生監督処文庫

year month day No. (/)

Reel 1 **No 1** 官報 第8期-19期 (光緒¹⁹⁰⁷33年7月-34年6月)

Reel 2 **No 2** 官報 第20期-25期 (光緒¹⁹⁰⁸34年7月-34年12月)

No 3 官報 第26期-27期 P177まで (宣統¹⁹⁰⁹元年正月-元年2月)

Reel 3 **No 3** 官報 第27期 P178-32期 (宣統元年2月-元年6月)

No 4 官報 第33期-34期 P167まで (宣統元年7月-元年8月)

Reel 4 **No 4** 官報 第34期 P168-38期 (宣統元年8月-12月)

No 5 官報 第39期-41期 P179まで (宣統¹⁹¹⁰2年正月-3月)

Reel 5 **No 5** 官報 第41期 P180-44期 (宣統2年3月-6月)

No 6 官報 第45期-50期 P53まで (宣統2年7月-12月)

Reel 6 **No 6** 官報 第50期 P54-119終 (宣統2年12月)

No 7 経費報銷冊 (光緒32年11月-33年8月)

N08 経費報銷冊(光緒33年9月-12月)

N09 経費報銷冊(光緒33年12月-34年5月)

N10 経費報銷冊(光緒34年上学期 P221まで)

Reel 7 N10 経費報銷冊(光緒34年上学期 P223-P48 | 終まで)

N011 経費報銷冊(光緒34年6月-11月)

N012 経費報銷冊(光緒34年12月-宣統元年4月)

N013 経費報銷冊(宣統元年5月-11月 P251まで)

Reel 8 N013 経費報銷冊(宣統元年11月 P252-P437 | 終まで)

N014 経費報銷冊(宣統元年12月-2年5月)

N015 経費報銷冊(宣統2年6月-11月)

N016 民国前一年(即明治44年度)無卒業之学校

N017 第一次留学生調査報告書 第1冊(大正3年7月-9月調査)

N018 第一次留学生調査報告書 第2冊(大正3年7月調査)

No19 第一次留學生調查報告書 第3冊(大正3年8月調查)

No20 第一次留學生調查報告書 第4冊(大正3年7月-8月調查)

Reel 9 No21 民國四年留學統計表(上半期)

No22 民國五年度私立各學校畢業生名冊

No23 民國五年度官。自費生簡表

No24 帝國大學在學生名冊(民國7年7月調查)

No25 本處管理之各省官費生名冊(民國7年8月調查)

No26 七年度秘等各經理處報告官費生人數一覽表

No27 七年度自費生調查冊(民國7年)

No28 留日官費生總冊(8年4月調查)

Reel 10 No29 民國八年五校在學生名冊(民國8年4月-9月)

No30 民國八年各高等。專門在學生名冊

No31 八年度考取五校之普通各學校新生名冊

N032 民国八年各帝大在学生册(民国8年10.11月)

N033 民国八年各私立大学在学生名册

N034 民国八年春季各官費生册

N035 八年十月分各省自費生名册(民国8年10月)

Reel 11 N036 八年十一月本处直轄官費生册(民国8年11月)

N037 八年度官費生名册(9月)

N038 民国八年各官·私立高等·大学·專門卒業生名簿
(民国8年4月-9月)

N039 九年度留日官費生总册(4月調查)

N040 奉天自費生抄册(民国9年10月)

N041 江西私費生名册(民国9年11月)

N042 九年度各單大·高等·專門学校錄收新生
名册

N043 九年度春季各單大·高等·專門名册(民国9年)

N044 民国九年春季各高等·專門卒業生名册
(民国9年3月)

N045 十年四月官費生調査表 折まご (民国10年4月)

Reel 12 N045 十年四月官費生調査表 山東より (民国10年4月)

N046 一高報名冊 (民国10年12月)

N047 十年度自費生名冊

N048 浙江留日公費生名冊 (民国十一年11月)

N049 (官費生名冊) 年度不名

* N050 早稻田・明治・日大・法政四大学〇年度在学人数
一覽 (年度不詳)

N051 五校学字真冊

N052 各省留学生写真冊

Answering sur!

説明

原簿を保存した。

1934年、関東大震災のため、監督処員全部

帰国に際し、清朝以来の留日学生に属する文献全部も、財団法人日事学会にあずけられた。

終戦に至り、これらすべて鳥有に帰還したのを

たねとが一時あがかり、いさか整理をくわえた。

かえすがえすも、ざんねんなのは、最初の《官報》

(第一期～第七期) 狂の一巨冊が、捜し出せなかった。

ことある。

その他、こまかい、いきさつについて、次にの

せた、図書館長あとの《中国留日学生関係

文献撮景多額》をみられたい。

1966年10月3日

きねじげいしや

1896年以來、中国から多くの留學生が来日した。留學生の増加とともに、中国(清国)側の学校への文書、留學生の奨

勵・監督などの必要があらわれ、1903年、

駐日公使館の外に、留日学生監督署を

東京に設けた。最初の總監督は汪大燮

という大臣級の人物。1906年の末からは《官報》

および《經費報銷冊》など二種の刊行物を

出した。

中華民国以後は、この役所は中華

民国留日学生監督処とよばれようになり、

前同様にしていた。公刊物は出さなくなったが、